

(参考)

1 農林水産物の輸出を取り巻く背景と本県の現状

(1) 背景

少子高齢社会の到来により、国内市場の縮小が懸念される一方で、アジア諸国には、人口増加や経済発展に伴う有望なマーケットが存在している。

また、海外においては、バランス良く栄養が摂れる日本食がブームとなっている。

(2) 本県の現状

本県では、平成17年度から青果物を中心に輸出に取り組んできたが、お茶を除き、テスト輸出に留まっている。

本県は、全国有数の農林水産業県であるとともに、食品産業も大変盛んである。この特長を生かし、農産物のみならず加工食品も含め、本格的な輸出に誘導していく必要がある。

- ・ 日本一の「あいちの農林水産物」
キャベツ、しそ（大葉）、ふき、いちじく、ぎんなん、うずら卵、あさり類等
- ・ 本県の食品製造額（H22）
1兆5千656億円 北海道に次ぎ全国第2位
- ・ 本県の農林水産物の輸出実績（H23）
茶（163t）、梨（3.5t）、アールスメロン（2.8t）、桃（2.7t）等

2 平成24年度の実績

(1) 事業名

あいちの農林水産物輸出拡大戦略事業

(2) 予算額

7,211千円

(3) 主な内容

- ア 中国・上海における「愛知フェア in 上海」の開催
(商談会、知事トップセールスと販売促進会の開催)
- イ フードックス・ジャパン2013への出展
- ウ 「あいちの農林水産物輸出促進会議」の開催

3 目標

食と緑の基本計画2015

県産農林水産物の輸出品目数 20品目（2015年）